

一唐胡麻より油絞り出し、燈油并蠟燭等に用候儀、今度淺草橋外新地喜兵衛、佐右衛門と申者、相願候ニ付、吟味之上申付候、依之關八州之内、御領私領共、右兩人之者、唐胡麻種請取植付可申候、田地芝地原地之所にて、茂、無構出來候之由、百姓勝手にも可相成候間、植付様之儀者、右兩人之者へ承合作り可申候、

一唐胡麻出來之上、壹石ニ付而貳拾目之積り、願人共方、江何程にても買取候筈、又は油にて請取度ものは、種壹石に付油壹斗五合宛相渡候筈に候間、兩様之内、相對次第可致候、尤江戸近邊は不及申、何之所にて、茂、作り度と存候ものは、右願人方、江參種請取可申候、

一遠方に而江戸出し不勝手之所は、可致相對由候間、可得其意候、

右之通、今度關八州、江相觸候間、右在々作り出し候、唐胡麻之分は、願人の外之者、買取候儀、堅仕間敷、右之段、町中へ可觸知候也、

十二月

青囊

〔新撰字鏡〕草、青囊、胡麻葉

〔本草和名〕十九米穀、青囊、楊玄操音、巨勝苗也、

〔醫心方〕青囊、巨勝苗也、胡麻、淳黑者、名巨勝、

〔康賴本草〕米穀、青囊、味甘寒、无毒、和コマノハ、即胡麻葉也、其時分採之陰干、巨勝苗也、胡麻淳黑者名巨勝、

〔菜譜〕下胡麻、○中苗を青囊と云、春秋子をまきて、苗を取てゆびき食之、性よし、味はよからず、

〔宜禁本草〕五穀、青囊、甘寒、巨勝苗也、主風寒濕痺、益氣補腦髓、堅筋骨、久服聰明增壽、以湯浸之、良久涎出、湯黃、沐潤、毛髮、

〔延喜式〕二十三民部、交易雜物

胡麻產地